



さかい ゆきこ
酒井 友季子〔ふくいの党・鯖江〕



ふるさと納税について

問 令和6年度のふるさと納税見込額・件数・返礼品の傾向は。

答 寄付金額は約20億7,000万円、件数は約3万1,600円を見込んでいる。返礼品は、眼鏡引換券やサングラスなどの眼鏡が大部分を占めており、その他に美容器具や漆器関係などが選ばれている。

問 用途を明確にするため、ふるさと納税基金を創設してはどうか。

答 基金の創設は考えていないが、用途の透明性を高めることは重要であるため「鯖江市ふるさと納税特設サイト」を立ち上げ、お示しできるよう検討する。

フリーアドレス導入について

問 フリーアドレスとは何か。

答 職場内で席を固定せず、自由な場所で仕事をするワークスタイルのこと。

問 市では令和5年度から試験的導入をしているが、ヒアリング結果と得られた効果は。

答 「執務室が明るくなった」「相談がしやすくなった」「ほぼ固定席になっている」「書類の保管場所に困る」などの意見があった。職場環境が大きく改善されたと認識している。

問 今後、全庁的に導入するのか。その場合の費用は。

答 備品購入や工事費、その他諸費用等で約4,270万円と試算している。すべての部署において、順次導入していきたい。



えばた かすたか
江端 一高〔さばえ結の会〕



嚮陽会館複合交流施設整備の方針と費用

問 整備全体の概算費用は。

答 副市長 全体の概算費用は約32億4,000万円。外構工事等に約1億7,800万円、備品購入費に約8,000万円、駐車場整備に約2億円などとなる。

問 改修方針とする理由は。

答 副市長 西山公園のランドマークとして広く親しまれており、耐震性も問題なく、適切な改修により長寿命化を図りたい。一般的に改修費は改築する場合の6割程度であり、費用を抑えながら進めていきたい。

問 室内遊び場は無料？それとも有料？

答 副市長 基本的には無料とすることで、多くの方々に利用していただきたい。運用の中でイベント内容によっては一部有料もありえる。

問 中庭と屋上の整備とメリット、デメリットは。

答 市長 中庭を室内化し屋上に向かうスロープを設置したい。施設の回遊性やギャラリー機能も高まる。遊び場との連携もしやすくなり、体験型遊び場の機能も充実する。市民活動エリアの明確化と見える化や日本文化を体験できる場所など、多様な方々が集まる交流ゾーンという機能を有するエリアとなる。また、室内化により断熱効果が高まり、ランニングコストの軽減が図れる。デメリットは工事の安全性、工期といった観点から、完全休館をして工事を進めていくことになる。

【その他の質問】・日野川左岸緑地について

・消費者教育推進計画について・男女共同参画プランについて



きむら あいこ
木村 愛子〔市民創世会〕



人口減少に対応できるまちづくり

問 免許を持たない人の通学や移動のための公共交通の在り方、「ちょいボラ交通」の今後の事業展開、総合的な交通政策の見直し等、新年度からの体制も含めて、どう対応するのか、所見を。

答 現在のつつじバスは、高齢者の買物や通院の利便性を考慮するとともに、通勤通学に配慮したダイヤ編成となっており、8台のバスでの運行には限界がある。運転士不足、燃料高騰、人件費高騰に伴う課題もある。

令和9年度の鯖江市地域公共交通計画の改定に向け、新年度から富士通(株)に、自治体の最適な交通体系を検討する国土交通省の実証実験に鯖江市で取り組んでいただく。

交通弱者の移動手段確保の必要性は認識しており、実証事業の中で、乗り合いでのデマンド交通等を試行し、地域にとって最適な交通手段は何か、交通事業者や地域の皆様と協議を進めていきたい。

つつじバスの見直しをはじめ、新しい交通手段の調査、検証、シミュレーションなどを総合的に実施する。新年度からは交通・にぎわい創出課として、市民の足としての公共交通に加え、西山公園をはじめとする観光地への交通手段についても検討していきたい。

【その他の主な質問】

- ・小規模特認校について
- ・耕作放棄地の活用について
- ・奨学金制度について
- ・ふくい嶺北連携中枢都市圏における事業推進について

